



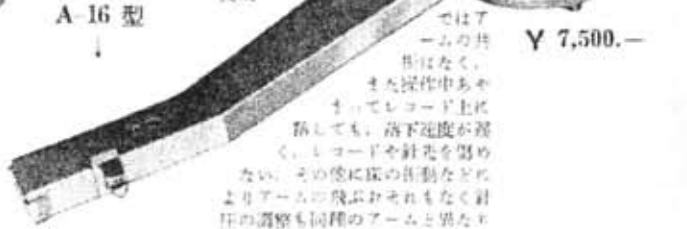
クライスラーのキャビネット

6S-111 型には、新材料の“クリン”と“ゴク”を使用してあって、従来のネットよりも丈夫で汚れが目立たず、音響的にもすぐれているとのこと。スピーカーは“8”型で取りつけられる。またシャーシは、RFI 段、マッシュアップの7音スピーカーが組立てられるようになっている。さらに予備穴が1つ設けられている。なおターミナル、セージ・ボス、グー等も高級品がついている。寸法、85×205×55mm 産経電線工業(東京都渋谷区幡ヶ谷番屋町 125)

価格未定

“サウンド” オイル
ダンブ・アーム

東京サウンド研究所では、この度“オイル・ダンブ”式アーム A-16 型を発売した。特設は、ワン・ポイント・サポートのアームを“ゴク”・オイルでダンブしているため、可動範囲



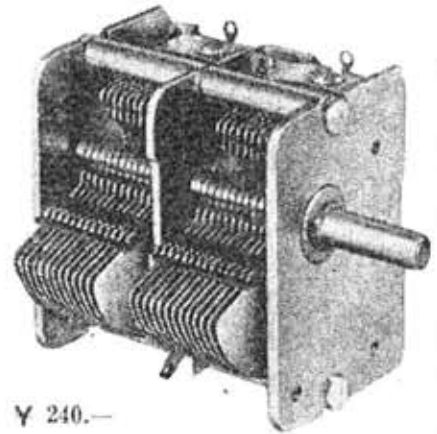
A-16 型

¥ 7,500.-

ではアームの共振はなく、また操作中あやまってレコード上に落しても、落下速度が遅く、レコードや針先を傷めない。その他に底の振動などによりアームの飛びかそれもなく針圧の調整も同様のアームと異なり容易である。

サンエスのロータリー・スイッチ

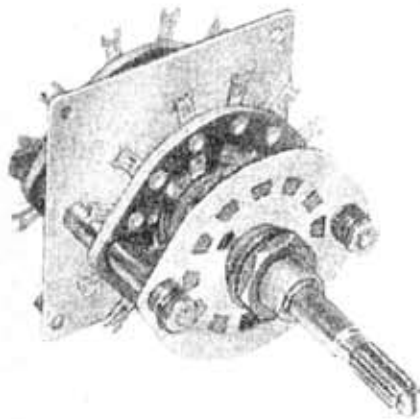
パナソニックで定着のある三陽社が新しくバンド切換用ロータリー・スイッチを発売した。接点材料およびノイズは特に深い考慮が払われており、長時間使用した後でも接触抵抗の変化が少なく、同調回路の Q 低下を十分に防いでいる。また絶縁材は真空乾燥処理をし、高湿度のときでも誘電体損失は少なく、経年変化も絶無とのこと。(東京都品川区中延 1-112)



¥ 240.-

ナショナルの小型2速バリコン

210V-110V 型が発売された。これは機械的にしかりとしていて、取付けが容易でハウジングが鉄無とのこと。また電氣的にも絶縁帯で電圧を保持している。(松下電器産業 KK)



クラウン A-430PU

ピッチアップ、ピッチダウンの調節にできる超無段電圧 15K により発売されたこのピッチアップは、クリンタイプである。

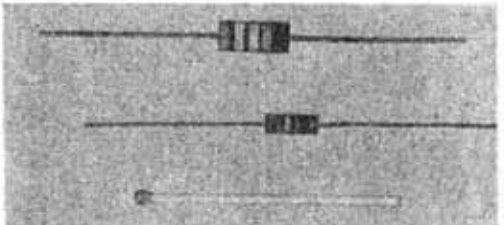


*アームは美しい緑色のプラスチックを使用した近代的なもので、鋼鉄針、セファイアの特許針でも使用できる。周波数特性は 60~10,000Hz に深いピークもなく、1000Hz で 1.5V が得られる (SP、LP 両用)

パワー・トランス

オーディオ用トランス発売元の電気音響研究所では、1954 年春ともいうべき新製品パワー・トランスを発売した。型名は DP-42S で規格は 12 シングルス 6-7 極受信機用で、一次側 85-100V、二次側は 20V で 250V のタップつき (両極整流) 70mA、6V-2A、6.3V-1.7A x 2 をもっている。コイル巻線も真空処理がほどこされていて、耐湿度が高い。(東京都大田区西六郷 3-25)

¥ 1,080.-



カマヤオーム

昭和 26 年度には技術研究補助金を、27 年度には工業化試験補助金を受け、研究中であったコンポジションオーム (合成樹脂でコーティングされたフリップ抵抗器) の量産に成功し、カマヤオームと名づけ発売した。JAN 規格によって製造検査されている優秀品で、テレビ、オートメタ、測信機、一般受信機に広く、とくに小型化しようとするセットに便利である。なお定電圧 (1W 耐最高 30V) を加えたときに発生する抵抗体内の雑音電圧はすべて 0.5μV である。小売価格は 1.2W 型で 20、10、5% がそれぞれ、8、16、24 円、1W 型ではそれぞれ 14、20、22 円である。(大阪府中河内郡加美村麻戸 31 産谷化学工業 KK)

超小型の IFT

JENITH IFT No. 600 型は小型の上級のようなもので、寸法は 11×22×40mm である。これには特殊磁気コアを使用し、チタコンを取付けるスペースが特別にとってあるので、コイルの Q を落さずにする。かつ調整ネジがほとんど頂部に用いられているので、調整の操作が容易で小型セットにふさわしいものである。東京都中野区雑色町 22 富士通無線研究所



¥ 500.-

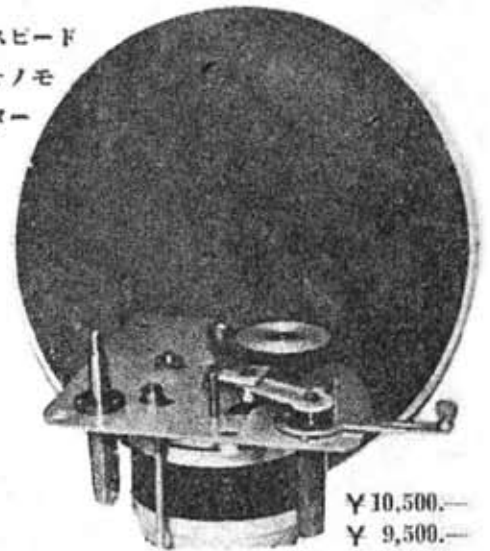


オンキョーのスピーカー

PD-181 型はオンキョー独自のコーン紙使用の 8" 形ダブル・コーン・スピーカーである。規格は、入力 8W、ボイス・コイル・インピーダンス 7-8Ω、 f_0 は 72c/s 再生周波数特性は 45-13,000 c/s ± 8 db。なおパーマネント型であるが、全振幅は 50,000 マックスウエル、空界磁束密度は 10,000 ガウスである。(大阪音響 KK)

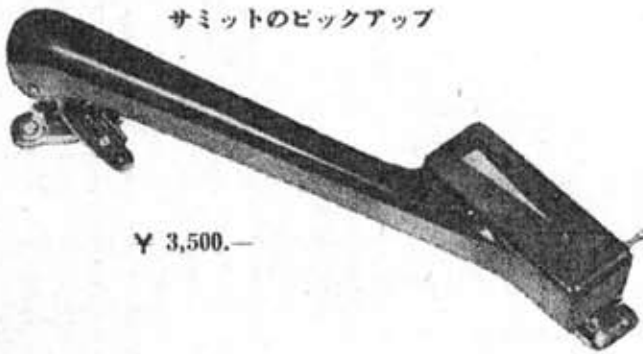
この種のキーターでは、トランス 80g/cm のものと 150g/cm の 2 種があり、特設としてはつきものがあげられる。テーブルはアスベの動物で 12 $\frac{1}{2}$ "、10 $\frac{1}{2}$ " があり、ディスク振れは 1.10mm におさえられている。消費電力は 30W、20W で 24 時間の使用に耐え、スピード切替用レバーには実用新案申請中の特殊なものが使われている。東京都世田谷区玉川 1-482 原録音機製作所

3スピード
フォノモ
ーター



¥ 10,500.—
¥ 9,500.—

サミットのピックアップ



¥ 3,500.—

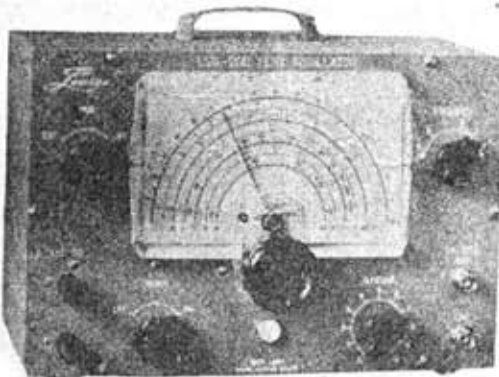
サミット C-1 型 LP、SP 両用のピックアップを発売した。特徴はつぎのとおり。針先は極めて柔軟で、大切な LP レコードを損傷することがない(実用新案出願中)。LP、SP の切換えは、ターンオーバー式で、切換ると同時に、LP、SP に適する針圧が得られる。規格は針圧が LP-5g、SP-15g (自動調整)、トラッキング・エラー 3%、周波数特性 50-10,000 c/s である。アームはチョコレート色。(東京都品川区南品川 5-205 斎藤無線機製作所)

コーラル HH-2010 型
ホーントウイーター



¥ 7,000.—

福洋音響 KK ではプロフェッショナル用ホーン型トウイーターを発売した。これはカットオフ周波数 1,500 c/s で再生周波数 2,500-16,500 c/s ± 5 db というワイドレンジをもち、かつ効率高くビークは非常に少ない。3 ウェイの LP 用として好適であるが、クロスオーバーを 3,000 c/s として 5W の入力で 2 ウェイとしても使用できる。ボイスコイル・インピーダンス 8Ω、12Ω (東京都北区王子塚母町 1-134)



テスト・オシレーター

写真は LSQ-200 型で、サーボ・システムの装置品としよさわしいもので、発振周波数範囲 100 kc-35 Mc、6 バンド(周波数精度 ± 1%) である。内部変調にて約 400 c/s 40% が可能で、外部変調時は約 0.8 V で 40% 変調ができる。使用真空管は 6X4 × 2、12 E。他にポータブル用として LSQ100 型もある。(東京都目黒区上目黒 5-2596 大松電気 K.K.)

CT-130A 型オシロスコープ

今度発売された本機の特徴はつぎのとおり。ブラウン管には新型の 5UP1 (130mm) を使用し垂直、水平増幅器は 3 段のプッシュプル増幅器で構成されており、直線範囲が広く微小波形の拡大観測が可能。ともに最大増幅においても電圧の変化より波形が変動することがない。また内蔵込み増幅器は直波よりの増幅が可能であるので、過渡現象の研究実験にも利用できる。また測定時の入力容量による影響を防止して、正確な測定をおこなうため、小型のテストプローブを開発している。規格は極点直径 1.5mm 以下、直接偏向き 垂直軸 AC 0.5 V/mm、水平 0.6 V/mm、周波数特性は DC より 800 kc ままで 0 偏差 -6 db 以内、増幅器利得最大 40 db 以上、時間軸変換周波数、遅延 10 c/s-10 kc。(松下電器産業)

